



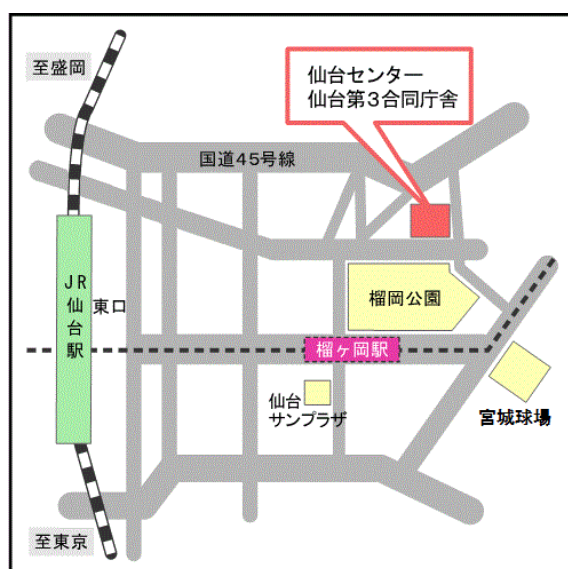
平成30年度地方公共団体職員等研修を開催します

農林水産消費安全技術センター（ファミックFAMIC）では、農林水産省所管の独立行政法人として、地方公共団体の関係行政部局（主として消費者行政担当部局）の職員・相談員等を対象に、農林水産省における消費者行政、食品等の一般知識、商品テストに係る検査分析技術等に関する研修会を開催しております。

FAMIC仙台センターでは、東北管内の地方公共団体の上記職員の方々を対象に、今年度は別紙開催要領のとおり、9月19日（水）に開催します。

受講申込書は、各県消費者行政担当部局及び各消費生活センター等にお送りしていますので、受講希望の方は8月29日（水）までに郵送又はFAX等でお申込み下さい。

なお、会場の都合上、同一団体から申込み多数の場合は、調整させて頂く場合がありますので予めご了承下さい。



○担当者連絡先

独立行政法人農林水産消費安全技術センター
仙台センター 業務管理課 澁谷
管理官 渡辺

所在地：〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-15
仙台第3合同庁舎

電話：050-3797-1889 Fax：022-293-3933

e-mail：famic-sendai-daihyo1888@famic.go.jp

開 催 要 領

- 1 名 称 平成30年度地方公共団体職員等研修
- 2 目 的 地方公共団体の消費者担当部局及び消費生活センターの職員等を対象とし、消費者に対する食品等に関する情報提供業務等の適切な実施を支援すること。
- 3 実施年月日 平成30年9月19日（水）
- 4 実施場所 農林水産消費安全技術センター仙台センター
仙台市宮城野区五輪1-3-15仙台第3合同庁舎
第2共用会議室（8階）
- 5 対象者 地方公共団体の消費者担当部局及び消費生活センターの職員等
- 6 定 員 20名程度
- 7 講習等の内容 下表のとおり

月日	時間	研修内容	講師等
9月19日 (水)	10:00～10:20	受付	進行者：管理官
	10:20～10:30	開講あいさつ オリエンテーション	仙台センター所長 管理官
	10:30～12:00 (90分)	〔実技〕 しょうゆの商品知識と官能検査	仙台センター規格検査課職員
	12:00～13:10	昼休み	
	13:10～14:40 (90分)	〔講義1〕 飲料容器の科学 ～ガラスびん、缶、ペットボトル等飲料容器の特性や殺菌技術、充填技術～	(株)ティーベイインターナショナル 代表 松田晃一
	14:50～16:20 (90分)	〔講義2・実技〕 豆腐を巡る現状と課題 ～公正競争規約案等と官能検査～	青山とうふ研究所 所長 青山 隆
	16:20	閉講あいさつ (解散)	仙台センター次長

(敬称略)

研修内容のあらまし

例年、農林水産消費安全技術センター（FAMIC）では、地方公共団体の消費者行政担当部局、消費生活センターの職員等を対象に、消費者に対する食品等に関する情報提供業務等の適切な実施を支援するための研修を行っています。

本年度、FAMIC 仙台センターでは、伝統的に使われてきた和食の主要な素材である豆腐、醤油といった大豆加工品の商品知識と、また、加工食品に用いられる飲料容器を題材に、下記の3項目について実施します。

参加される皆様にとって、食品の品質等にかかる知識を深める一助になれば幸いです。

1. しょうゆの商品知識と官能検査

しょうゆの製造方法、品質特性及びJAS規格等の講義を行うとともに、色度及び無塩可溶性固形分の測定並びに官能検査によるしょうゆの品質検査の実技を行います。

2. 飲料容器の科学

加工食品が製造者から消費者へ流通する過程において、容器及び包装は不可欠なものです。その中でも、飲料容器の進歩は年々目を見張るものがあります。その一方、例えば、最近よく見かけるようになったペットボトルのコーヒーと昔からある缶コーヒーとでは何か違いがあるのかといった素朴な疑問が思い浮かぶのではないのでしょうか。

本講義では、ガラスびん・缶・紙容器・ステンレス樽・ペットボトルなど、それぞれの飲料容器の特性についての解説、その殺菌技術や充填技術、さらにいかにして製造ラインの高速化が実現できているのかといった技術的な事項について、消費者の観点から分かり易く解説して頂きます。

3. 豆腐を巡る現状と課題

大豆は、穀物のなかでもっとも良質のたん白質を含み、世界的にみても食糧問題を解決できる貴重な穀物と位置づけられます。

その大豆を主原料とする豆腐は、赤ちゃんからお年寄りまで安心して食べられる、安価で安全な栄養価の高い食品で、日本人の食生活には欠かせないたんぱく源として古来から伝統的に食され、高齢化の時代を迎える日本では重要な大豆加工食品とされています。

本講義では、豆腐を巡る製造や販売の状況、また、現在、豆腐公正競争規約の設定が進行中のところ、規約設定の方向性等について解説して頂きます。

また、市販の豆腐数点を実際に食して、官能検査の方法についても解説して頂きます。

平成 年 月 日

独立行政法人農林水産消費安全技術センター仙台センター所長 宛

受講申込み機関名称

代表者役職及び氏名

平成30年度地方公共団体職員等研修受講申込書

標記の研修について、下記職員の受講を申込みます。

記

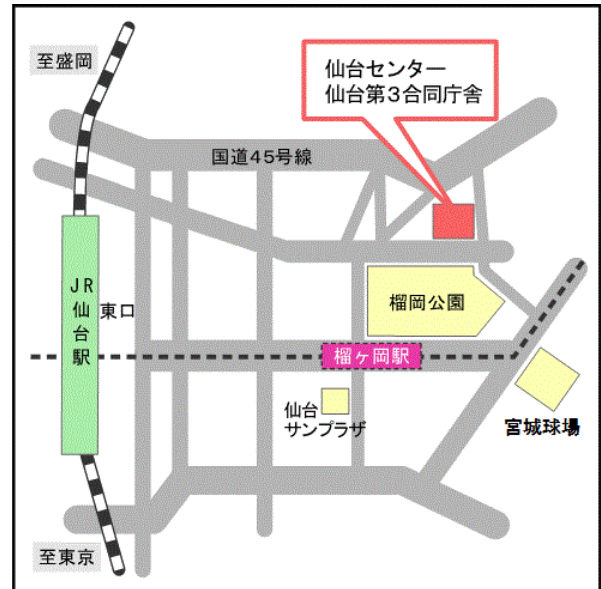
フリガナ 氏名		性別	男 女
所在地	〒	電話	
所属及び職名※1		実務経験年数	年
主な実務内容	①相談業務 ②商品テスト ③その他 ()		
その他(意見、要望、連絡等)※2			
連絡 先	フリガナ 氏名		
	所在地	〒	
	電話、Fax、e-mail※3		

※1 担当職員の常勤、非常勤は問いません。

※2 全講義受講できない方はその他(意見、要望、連絡等)に受講しない講義等を記載して下さい。

※3 研修生の決定通知は、電子メールにより行いますので、必ず、e-mailアドレスの記載をお願いします。

独立行政法人農林水産消費安全技術センター 仙台センター 案内図



◇所在地◇

〒983-0842

- ・ 仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台第3合同庁舎
- ・ Tel : 050-3797-1889 (I P 電話、業務管理課直通) Fax : 022-293-3933

◇交通◇

- ・ JR「仙台駅」下車徒歩 25 分
- ・ JR 仙石線「榴ヶ岡駅」下車徒歩 10 分
- ・ 駐車場は、非常に限られた台数しか利用できませんので、出来る限り公共交通機関をご利用ください。